



(報道発表資料)

2023年12月11日
堺市
大阪公立大学
西日本電信電話株式会社 関西支店

大阪府堺市南区ウェルビーイング見える化プロジェクトを開始します ～SENBOKU スマートシティコンソーシアム「データ連携ワーキング」の取り組み～

堺市（市長：永藤 英機、以下 堺市）、大阪公立大学（学長：辰巳砂 昌弘）、西日本電信電話株式会社 関西支店（関西支店長：小川 成子、以下 NTT 西日本）は、堺市南区における住民の皆さまの暮らしの質（クオリティ・オブ・ライフ）の向上と幸福感（ウェルビーイング）の実現に向け、デジタル庁が全国調査結果を公表している地域幸福度（Well-being）指標を比較・分析し、住民の皆さまが感じるウェルビーイング像やニーズを見える化し、施策に反映させるための実証プロジェクトを開始します。

1.背景・目的

本プロジェクトは SENBOKU スマートシティコンソーシアム[※]における「データ連携ワーキング」のプロジェクトとして、かつ大阪公立大学スマートシティ研究センターが、イノベーションアカデミー事業に基づき時代や住民の皆さまのニーズに応え、“新たな知”を創造・実践し、都市シンクタンク機能を担うために、堺市と連携して取り組む大阪公立大学協創推進事業のひとつとして実施するものです。

※SENBOKU スマートシティコンソーシアム

「SENBOKU New Design」及び「堺スマートシティ戦略」の理念や「SENBOKU スマートシティ構想」で示すコンセプトに基づき、公民がイコールパートナーとして取り組みを推進する5つのワーキングで構成される。（2022年6月設立） 詳細はこちら：<https://senboku-smartcity.com/>

2.発表内容の概要

本プロジェクトでは、ICTを活用し、南区の住民の皆さまが感じるウェルビーイングを他市、他区と比較・分析することに加えて、アンケートによりニーズを明らかにします。この結果を堺市南区政策会議[※]

に提示し、議論いただいたご意見を、スマート区役所などの南区の施策やスマートシティの推進など、南区のウェルビーイングの実現に向けた取り組みに反映させます。

※堺市南区政策会議

区ごとの実情及び特性に応じた政策形成を進め、特色ある区行政の実現に資することを目的に、市が実施する施策等について、地域の方等から意見を聴取するために開催する会議

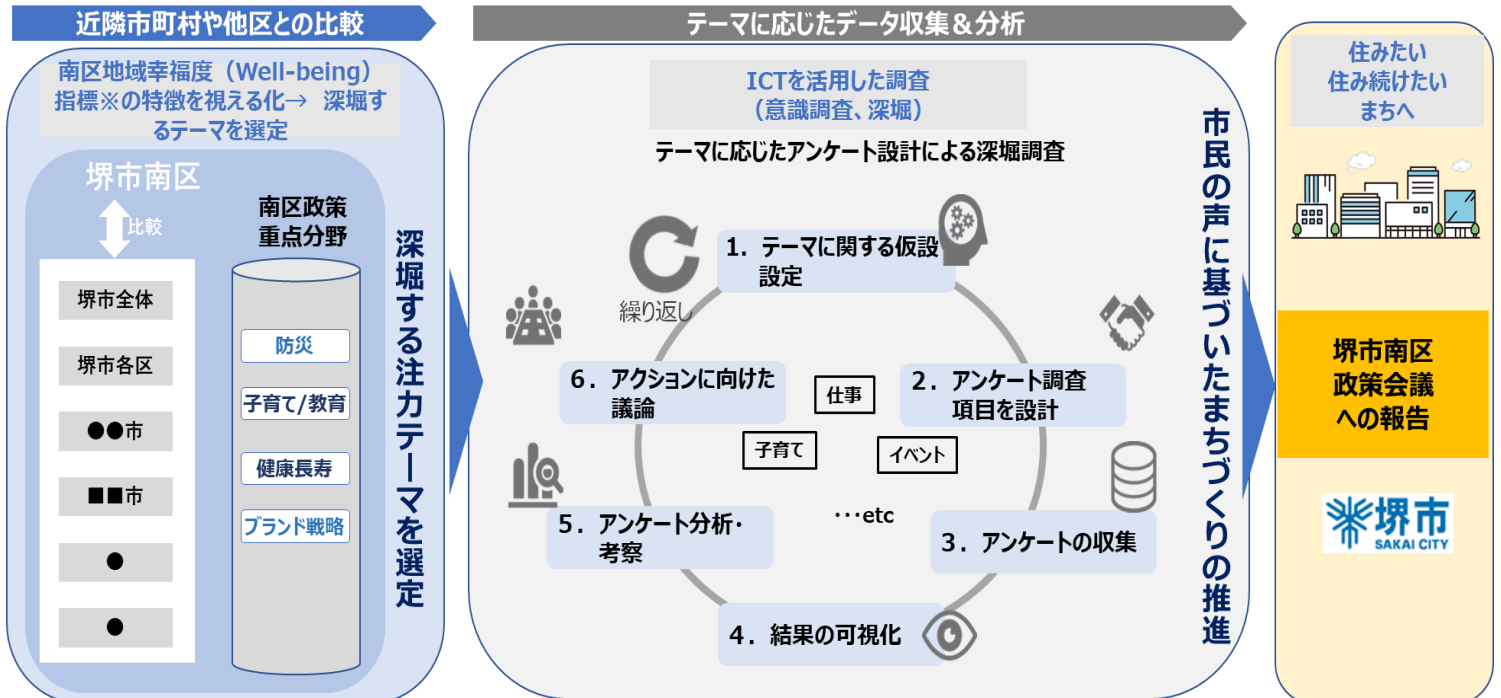
堺市南区役所では、第1期堺市南区政策会議（2021年度・2022年度）のご意見を踏まえ、暮らしやすさ、働きやすさ、楽しさ、幸福感の向上などウェルビーイングの実現に向け、以下の方向性をまとめ、この方向性に基づき取り組みを進めています。

これら3つのテーマに応じたデータ収集及び分析を開始します。

- ① 南区独自の防災力向上モデル ～“あたらしい共助”の輪を広げよう～
- ② 子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング（Well-being）総合プロジェクト
- ③ 南区ブランド戦略

大阪府堺市南区ウェルビーイング見える化プロジェクト 全体イメージ図

【提供元：NTT 西日本 関西支店】



※地域幸福度（Well-being）指標

客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を指標で数値化・可視化したものです。

(1) 実施期間

2023年12月11日(月)～2024年3月31日(日)

(2) 実施場所：

大阪府堺市南区

(3) 役割分担

堺市：実証フィールドの提供、プロモーション、実証検証用データ取得、南区政策会議への報告

大阪公立大学：ICTを活用した調査のテーマ設定や深掘調査の項目に関する助言、

実証検証用データ取得、データ可視化・分析、データ考察

NTT西日本：実証プロジェクト全体運営、分析設計

3.今後の展開について

2023年12月～2024年2月 データ分析の実施

2024年2月 堺市南区政策会議で分析結果を報告

2024年3月以降、スマートシティサービスやスマート区役所実現のための取り組みの具体化

また、NTT西日本は、地域課題解決や新たなまちづくりに向けた価値の創出に繋がられるよう、引き続きICT活用の取り組みを通じて、産学官連携を協働で推進していきます。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。